

授業科目	人間発達学2	2学年・前期・1単位(15時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	仙石泰仁(保健医療学研究棟E508号) e-mail: sengoku@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	小塚直樹、今野美紀、田畑久江		
概要	本科目は人間発達学1を基盤として、小児期のリハビリテーションおよび看護に必要な運動、認知、知能の発達理論およびその評価に関する知識の提供を行う。特に、人間の胎児期から就学期までの発達原理の理解を深めるため、身体と精神、認知、情緒、社会性の発達が、横断的かつ縦断的に相互関係を持ちながらどのように育まれていくかに焦点を当てて学習を行う。また、講義とともに関連書籍の精読を行い、レポートとしてまとめることも課題とする。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の身体の発達と主な疾患を説明できる。 2. 小児期の運動の発達を説明できる。 3. 小児期の認知や知能の発達を説明できる。 4. 1-3において、評価に関する知識を学ぶ。 		
関連科目	人間発達学1、心理学概論、教育学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	定期試験	80%	
	レポート	20%	
教科書	指定なし		
参考書	①前川喜平 [2003年] 「小児の神経と発達の診かた(第3版)」 新興医学出版社		
履修上の留意点	人間発達学1を履修していることが望ましい。		

実施回	内容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	人間発達の基盤とその障害について学ぶ	事前: なし 事後: 授業内容の振り返り	講義	仙石
2	身長・体重などの形態的発達の特徴	事前: 配付資料を精読 事後: 授業内容の振り返り	〃	〃
3	胎児期の発達と出生後の呼吸・循環機能	事前: 配付資料を精読 事後: 授業内容の振り返り	〃	今野
4	骨髄、免疫の発達など	事前: 配付資料を精読 事後: 授業内容の振り返り	〃	田畑
5	消化器、腎機能など	事前: 配付資料を精読 事後: 授業内容の振り返り	〃	〃
6	神経の発達から見た反射の変化	事前: 配付資料を精読 事後: 授業内容の振り返り	〃	小塚
7	神経の発達から見た姿勢の変化	事前: 配付資料を精読 事後: 授業内容の振り返り	〃	〃
8	生活環境や習慣と発達との関連	事前: 配付資料を精読 事後: 授業内容の振り返り	〃	今野